

ガバナンス
Governance

3つの力で
すみだを
変える



協治

知る

つながる

行動する

協治 ガバナンス ガイドブック



知る力



つながる力



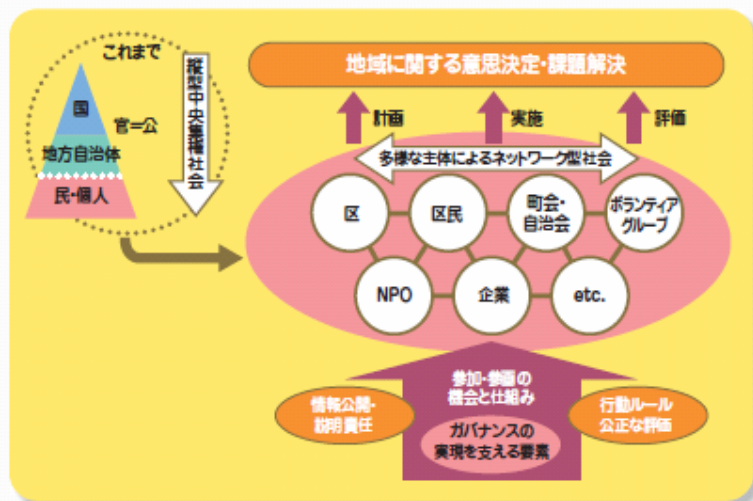
行動する力

協治って
なに？

一人ひとりが
すみだの地域の中で共に考え行動する。
そして、それぞれがもてる力を発揮し、
すみだを元気にする。
それが、協治によるまちづくり。

●すみだの「協治」とは？

「区民、地域団体、NPO、企業、区など多様な主体が、それぞれ果たすべき責任と役割を自覚しながら、ともに考え、行動することで、地域の課題の解決を図ろうという社会のあり方」と定義します。



●つまり、こういうことです。



これまでは、平等、公平で、効率的な公共サービスをめざして、国や地方自治体などの行政機関が、公共サービスの内容や地域課題の解決方法を決定してきました。しかし、子どもからお年寄りまで、さまざまなライフスタイルで暮らす人々のニーズが多様化し、その一つひとつに行政機関の目が届きにくくなっているのが現状です。

そこで、公共サービスを行政機関だけが担っていくのではなく、まちに関わる多くの人々が一緒に考え、それぞれの力を活かして解決にあたっていくことが求められています。行政機関だけでは解決できない、かといって、自分ひとりでも解決できない、そんな地域の困りごとも、みんなの知恵や力が集まれば、解決できるかもしれません。そして、そこから生まれる人と人の縁は、すみだをもっと安心して魅力的なまちにしていけます。

すみだのことを人任せにしない、それぞれが役割をもって共に行動する。それがすみだの協治の考え方です。



協治に必要な 3つの力



3つの力で
すみだを変える。
あなたの参加で
すみだが変わる。



●協治に必要な3つの力 知る力、つながる力、行動する力

協治に必要な3つの力があります。これは、区民、地域団体、NPO、企業、区などそれぞれが持っているものです。みんなが協治によるまちづくりの主役なのです。

協治

知る力

協治によるまちづくりは、まずなにが地域の課題なのかを一緒に考えることから始まります。そのためには、一人ひとりがさまざまな方法で、生きた情報を**知る力**、**知らせる力**をもつことが大切です。

そして、必要な情報が共有されていることが前提となるため、多くの情報を持っている行政機関や団体、組織などには特に**知らせる力**が求められています。

つながる力

みんなが協治によるまちづくりの主役になるためには、だれかに役割がかたよるのではなく、それぞれの良いところを見つけて活かせる上手な仲間づくり、すなわち**つながる力**が大切です。

また、それを支援する行政機関や地域のリーダーには、コーディネーターとしての**つなげる力**が求められています。

行動する力

地域の課題と仲間を見つけたら、できることから行動する。**行動する力**で、より**知る力**がアップする。このサイクルで人もまちも元気になります。

そのためには、だれもが行動できるよう参加の機会が開かれていることが重要です。

今どうして 協治なの？

●区民こそ 地域をよく知る人だから。

今、地域の力が見直されています。地域で暮らす人ならではの目線で、課題解決や目標の実現にあたる取組みが各地で盛んになっています。たとえば、阪神・淡路大震災のときには、地域住民や町会・自治会、ボランティア、NPOなどがめざましい活躍をしたことが話題になりました。



地域のことは、
地域をよく知る人の手で。
つまり、そこに暮らす
区民の力が重要です。

●いろいろな主体が 世代を越えて 活躍するまちだから。

すみだでは、町会・自治会、商店街やボランティア、NPOなどさまざまな主体が、地域を暮らしやすくする活動を行っています。しかし、近年は、メンバーの固定化、高齢化などにより、次の担い手の育成が求められています。



子ども、大人。
働き盛り、お年寄り。
いろいろな主体や世代が
関わってこそ地域。

●つながることで 相乗効果が生まれるから。

これまでも町会・自治会は、親睦活動をはじめ、交通安全、防犯、防災など生活に密着した地域課題に取り組んできました。

また最近では、ボランティアやNPOなどが、高齢者、子育て、障害者支援、まちづくりなど生活に密着した分野でそれぞれの専門知識を活かした独自の活動を展開しています。

さらに近年になって、企業や商店街などが経済活動だけでなく、まちの一員として、地域貢献を目的とした活動に取り組んでいます。

すみだをもっと暮らしやすくしたい、その思いは共通です。だから、みんながつながればまちがもっと元気になります。



土地のつながり。個人の思い。
事業者の心意気。
みんなをつなげてまちを
もっと元気に!

どうやって
協治を
進めるの？

みんなで知って



「地域の課題」は
あるものじゃない。
見つけるもの。

まだみんなが地域の問題だと思っていない、一人ひとりの抱えているもやもやとしたもの、もしかしたら地域で解決できるかも?! この発見こそ協治のはじまりです。そのためには、そのもやもやとしたものをみんなで知ることが大切です。

仲間を集めて
仲間になって



ひとりではできないことは少ないから。
頼られるとうれしいから。
適材適所のネットワークを。

個人や一つの団体が課題解決にあたることは難しい。いろいろなメンバーの力を集めて、それぞれの良いところ、得意な分野を活かせるように、小さなことでも役割分担をしましょう。そうするとみんながいきいきしてきます。輪が広がっていきます。

みんなで
解決!



地域の課題を
地域で解決できる、
ひとづくり、まちづくり。

身近なことから、できることから参加できるきっかけをつくりましょう。地域ぐるみで次世代の担い手を育てることも協治によるまちづくりです。



知る力

「地域の課題」は
あるものじゃない。
見つけるもの。

●まず、知ること、 知らせることから。

広報紙や、駅などに置かれている情報紙。行政機関だけでなく、さまざまな団体やグループが自分たちの活動や地域の情報を発信しています。



また、インターネットを活用して情報発信する団体やグループも多くなりました。簡単に更新できるホームページでは、活動する人々の思いが伝わってきます。

地域の活動に関心はあるけれど、なかなかきっかけが得られない、という人もまずは情報収集からはじめてみませんか。思わぬ発見があるかもしれません。



協治による まちづくり

発想のヒント!

「わがまち通信局」支援事業

町会・自治会が、独自のホームページを新たに開設したり、既存のホームページの内容を充実するときに補助金を交付しています。

地域の魅力の情報発信手段、また町会・自治会への加入率アップのために、地元のニュースをすばやくお知らせする電子掲示板として活用されています。



実際にすみだで行われている取組み事例を通して、協治によるまちづくりを発想するためのヒントをご紹介します。

●その悩み、 「地域の課題」かもしれません。 一緒に考えることから始めよう!

自分たちの地域でなにが課題なのか、そこから一緒に考える取組みがはじまっています。まさに、一人ひとりの参加でまちが変わるのです。

地域プラザ整備構想 ガバナンス会議

地域のコミュニティ施設として、地域プラザの整備が予定されています。

その地域にあった施設にするため、周辺に暮らす区民のみなさんが地域プラザの作り方から使い方、運営の方法までを考えます。



都市計画マスタープラン策定の ための「区民ミーティング」

区のまちづくりの基本方針である「都市計画マスタープラン」づくりに向けて、地域のまちづくりを考えたいと手を挙げた区民のみなさんが検討を進めてきました。

さらに、もっと多くの人と一緒に検討するため、メンバーが各地域に出向き、まちづくりの課題について話しあう「区民ミーティング」が開かれました。

区民が区民に伝える、一緒に考えるきっかけをつくる取組みです。





つながる力

ひとりではできないことは
少ないから。
頼られるとうれしいから。
通材通所のネットワークを。

●ちょっとしたことから 役割分担でみんなが主役に。

小地域福祉活動

小地域福祉活動とは、顔の見える範囲で、助けあい、支えあうことで、「福祉のまちづくり」を自主的に進めるための活動です。

一人暮らしのお年寄りや障害のある方を訪問する「声かけ・戸別訪問」や、ごみ出しや買い物の手伝いといった簡単な家事支援、地域の誰もが気軽に立ち寄れる「ふれあいサロン」「交流行事」などが行われています。



“地域福祉の推進役”墨田社協

墨田区社会福祉協議会は、小地域福祉活動をはじめとする、ボランティア活動や有料の家事援助サービス、子育て支援サービスなどを通じ、住民相互の助けあいのネットワークづくりを進めています。

地域の皆さんが自分らしさを活かし、地

協治による まちづくり

発想のヒント!

域や社会のために活動することを応援しています。



「いっしょにネット」 <http://www.sumida25.net/>

すみだ地域応援サイト「いっしょにネット」は、すみだを構成する地域のみなさんによって作られるホームページです。すみだで行われている地域活動を、多くの人に知ってもらい、参加してもらうことで、たくさんのつながりが生まれ、人と地域の輪が広がるまちづくりをめざしています。

登録すると団体の紹介や活動情報などを自由に発信できます。イベントや講座の案内、ボランティア募集などのほか、このサイトを通じての仲間づくりもできます。

すみだ地域応援サイト



つながってまちづくり・人づくり



行動する力

地域の課題を
地域で解決できる。
ひとづくり、まちづくり。

●お互いにメリットが あればやる気がでてる!

「すみだ 家庭の日」運動の協賛事業

すみだでは、やさしいまち宣言の一環で、毎月25日を家庭の日として「やさしさ」や「おもいやり」を育む運動を展開しています。



その運動に、お店や企業が参加し、協賛事業を実施しています。たとえば、25日に家族などで訪れるとサービスがつく飲食店やプレゼントをもらえる企業があります。お店や企業は「いっしょにネット」上でPRできるというメリットがあります。

お客さんも、お店も、そしてすみだにもうれしい取組みです。

●次の世代を育てることで 地域が変わる!

少年少女火消隊

古くからのまちなみの残るすみだでは、地域ぐるみでの防災活動が盛んです。

高齢者が多く、震災時に被害が大きくなると想定される地域にとって、若い世代の働きが期待されています。

ある中学校では、可会・自治会などと連携し、部活動の一環として、実践的な消火活動の訓練を行っています。この活動によって、隊員である中学生に、学校や地域での防災面でのリーダーとしての自覚が高まり、地域の一員としての意識が変化したという声も聞こえてきます。

学校と地域の連携によって、地域に欠かせない次世代を育てる取組みです。



協治による
まちづくり

すみだの将来像



- 歴史と文化が息づくまち
- みんなが集う魅力あふれるまち
- ずっと住み続けたいまち
- ものづくりを応援する活力に満ちたまち
- 災害に強いまち
- みんなで助け合えるまち
- お年寄りの知恵が頼られるまち
- 子どもの笑い声が聞こえるまち
- 環境にやさしいまち
- みんなで決めたルールをみんなで守るまち

ふれあい力 絆と力
すみだ



3つの力ですみだを変える
協治(ガバナンス)ガイドブック

発行



墨田区区民活動推進課
平成19年10月